

一般社団法人日本人間工学会第 23 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 26 年 2 月 25 日（火）15:30～18:18

2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室

3. 出席者：

<敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事) 青木和夫(理事長・学術・企画・ウェブアクセシビリティ支援委員長), 酒井一博(副理事長・学会組織検討委員長, 企業の人間工学教育のあり方検討委員長), 榎原毅(広報), 大須賀美恵子(編集), 河合隆史(企画・IEA), 小谷賢太郎(国際), 津久井一平, 土屋和夫, 芳賀繁(安全人間工学委員長), 堀江良典(総務・第 54 回大会長), 松岡敏生, 三宅晋司(財務), 矢口博之, 吉武良治(人間工学専門家認定機構長・第 4 期選管) [14 名]

(理事兼支部長) 横山真太郎(北海道), 北村正晴(東北), 阿久津正大(関東・表彰), 森本一成(関西) [4 名] [計: 18 名]

(欠席者) 大内啓子(総務), 大久保堯夫, 酒井正幸, 三林洋介(財務), 徳田哲男, 福田康明, 斎藤真(東海), 村田厚生(中国・四国), 和田親宗(九州・沖縄)

・監事：赤松幹之

・オブザーバー：斉藤進(学術・50 周年準備委員会), 横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長), 川野常夫(第 55 回大会長)

・事務局：栗田紀子, 西原彩, 米倉裕美

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 18 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2015 年の第 56 回大会長について

青木理事長より、第 56 回大会の開催地について、東海支部へ開催を依頼している旨説明があった。また、2016 年の第 57 回大会については東北支部にて開催予定である。

上記の方針で進めてよいか確認し、承認された。また、各支部へ今後の大会開催への協力をお願いした。

(2) 第 2 号議案 「小中学校等における ICT 機器活用の人間工学ガイドライン検討委員会」への諮問について

青木理事長より、小中学校等でのタブレットなどの ICT 機器利用について、学校では参考とすべき資料がなく利用環境に問題点が多いため、人間工学的ガイドラインを作成したいとの説明があり、小中学校等における「ICT 機器活用の人間工学ガイドライン検討委員会」の設置について審議が行われ、原案通り承認された。2014 年 2 月 25 日付けで設立、委員長は斉藤進氏に決定された。

(3) 第 3 号議案 投稿規程の改訂について

大須賀編集委員長より現在編集委員会において改訂案策定中と報告があり、後日、再審議することが承認された。

(4) 第 4 号議案 ビッグデータ人間工学研究部会の設立について

ビッグデータ人間工学研究部会を 2014 年 2 月 25 日付けで設立したい旨、発起人の一人であ

る吉武理事より提案があり，設立目的や 50 周年記念企画の一つであること等の説明があった。本件について審議の上，承認された。部会長は新家敦氏に決定された。

(5) 第 5 号議案 東海支部からの提案事項について

榎原理事より，東海支部からの提案事項について説明があった。選挙及び支部長選出については，これまで学会組織検討委員会等で議論してきた内容であることを確認した。理事会開催日についてはできる限り年間スケジュールを組むようにし，テレビ会議での理事会参加については実施方法や通信環境整備を検討することとなった。

(6) 第 6 号議案 平成 26 年度功労賞候補者について

阿久津表彰委員長より，平成 26 年度功労賞について表彰委員会で検討した結果，「該当者なし」と報告があり，承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 22 回理事会議事録

堀江総務理事より，メール審議を経て第 22 回理事会議事録が確定した旨，報告があった。

(1-2) 会勢報告(1 月末)

2014 年 1 月末現在，会員数 1,625 名，賛助会員 33 社 34 口。

(1-3) 名誉会員の推薦について

名誉会員推薦細則を説明の上，推薦者を募った。

(2) 財務報告

三宅財務理事より平成 26 年度 1 月度収支決算報告があった。

(3) 第 55 回大会（学会設立 50 周年記念大会）の準備状況

川野第 55 回大会長より，演題申込状況や特別講演の内容等について報告があった。50 周年記念式典のアイデアがあれば大会事務局へ知らせて欲しい旨呼びかけがあった。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

榎原委員長より，GPDB の運用，Web サイト人材データベース公開準備状況，HP のドメイン管理等について報告があった。

(4-2) 編集委員会

大須賀委員長より，会誌発行状況と論文投稿数，学会誌 50 周年記念企画，電子投稿システムの運用準備等について報告があった。積極的に論文投稿して欲しい旨お願いがあった。

(4-3) 国際協力委員会

小谷委員長より，ACED2014（2014 年 5 月／濟州島）でのセッション等の国際協力と，第 55 回大会での企画等について報告があった。IEA fellow については表彰委員会と相談の上進める。

(4-4) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より，平成 26 年度活動費支援予定，50 周年記念特集への学会誌記事連載等について報告があった。

(4-5) 表彰委員会

阿久津委員長より，表彰委員会活動について報告があった。平成 26 年度「日本人間工学会論文賞」と「研究奨励賞」の選考結果については次回理事会に上申する。

(4-6) 企画担当

青木理事長より、平成 25 年度公開講座（2014 年 2 月 26 日開催／立教大学）について報告があった。今回は安全人間工学研究部会と共催にて開催する。

(4-7) 人間工学専門家認定機構

吉武機構長より、機構の総会・講演会・交流会を 2014 年 4 月 25 日に芝浦工業大学にて開催する旨報告があった。また、2014 年 7 月の国際会議（AHFE2014）にてシンポジウムを開催する旨報告があった。

(4-8) 50 周年準備委員会

青木理事長より、学会設立 50 周年記念企画について、すでに進行している学会誌特集記事や、これから予定している 50 周年記念大会（第 55 回大会）でのシンポジウム等の報告があった。

(4-9) 第 4 期選挙管理委員会

吉武委員長より、第 4 期代議員および役員選挙管理委員会の実績と日程について説明があった。また、中国・四国支部より次期支部長の連絡がきていないとの報告があった。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

横山支部長より、2013 年度支部総会・大会を 2013 年 11 月 22 日に北海道大学にて前田亨史大会長のもと開催した旨報告があった。支部長選挙を実施し、次期支部長に横山現支部長が選出された。

(5-2) 東北支部

北村支部長より、2014 年 3 月 8 日と 3 月 17 日に支部研究会を開催する旨報告があった。

(5-3) 関東支部

阿久津支部長より、支部大会を 2013 年 12 月 7、8 日に首都大学東京にて開催し、次回支部大会は 2014 年 12 月 6、7 日に早稲田大学にて開催予定であることが報告された。2014 年 3 月 26 日には見学会を行う。また、関東支部選挙を実施し、次期支部長に阿久津現支部長が選出された。

(5-4) 東海支部

榎原理事より、支部研究大会を 2013 年 11 月 2 日に椋山女学園大学にて開催し、支部役員会を 2013 年 12 月 21 日に開催した旨、報告があった。2014 年度支部研究会は 11 月末頃に愛知工業大学にて小林正大会長のもと開催を予定している。次期支部長には斎藤現支部長が選出された。東海支部では企業の方にもっと学会に興味を持っていただくための企画を検討中である。

(5-5) 関西支部

森本支部長より、関西支部大会を 2013 年 12 月 14 日に開催した旨報告があった。2014 年 3 月 22 日に支部総会・講演会を開催し、2014 年度支部大会は 12 月 13 日に中国・四国支部との合同で開催する。次期支部長に川野常夫氏が選出された。

(5-6) 九州・沖縄支部

三宅理事より、第 34 回支部大会を 2013 年 10 月 26、27 日に霧島国際ホテル（鹿児島）で開催し、2014 年度支部大会は 10 月中旬に熊本で開催予定との報告があった。次期支部長に和田現支部長が選出された。

(6) 協賛等の依頼

青木理事長より、19件の依頼について協賛・後援をする旨報告があった。

(7) その他

(7-1) 平成26年定時社員総会資料作成に向けての予定

堀江総務理事より、平成26年定時社員総会資料作成（事業報告・事業計画・決算書類）についての依頼を3月中旬以降にお送りするので、ご対応をお願いする旨依頼があった。

(7-2) 理事会の交通費申請について

堀江総務理事より、理事会交通費の申請について説明があった。

(7-3) 今後の理事会日程について

堀江総務理事より、第24回理事会を5月13日(火)15:00～17:00に開催したい旨説明があり、開催日を確認した。

(7-4) 学会誌定価について

堀江総務理事より、4月からの消費税増税により、学会誌の本体価格2,000円は変更せず、定価のみ1部2,160円とする旨説明があり、確認した。なお、購読会員年会費は変更しないこととした。

(8) 閉会

以上の議事を終え、18時18分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成26年2月25日

代表理事

青木和夫[Ⓔ]

監事

赤松幹之[Ⓔ]